



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年10月31日

上場会社名 株式会社テクノスジャパン 上場取引所 東
コード番号 3666 URL <http://www.tecnos.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 吉岡 隆
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 小林 希与志 (TEL) 03-3374-1212
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	6,403	25.0	806	21.7	865	22.6	863	82.6
2023年3月期第2四半期	5,124	11.6	662	△0.5	705	2.3	473	5.4

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 541百万円(△21.0%) 2023年3月期第2四半期 685百万円(79.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年3月期第2四半期	円 銭 45.00	円 銭 44.93
2023年3月期第2四半期	24.45	24.44

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2024年3月期第2四半期	百万円 9,560	百万円 6,824	% 70.2
2023年3月期	9,867	6,564	65.7

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 6,715百万円 2023年3月期 6,485百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 15.50	円 銭 15.50
2024年3月期	—	0.00			
2024年3月期(予想)			—	16.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,700	15.2	1,440	11.0	1,475	8.7	1,260	39.7	65.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 有
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	20,400,000株	2023年3月期	20,400,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	1,205,740株	2023年3月期	1,203,656株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	19,197,400株	2023年3月期2Q	19,349,457株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

新型コロナウイルスについて政府が、感染症法上の位置づけを5類へと移行したことを受けて行動制限が緩和され、国内経済は緩やかに持ち直しを始めております。一方で、インフレ圧力の高まりに伴う各国中央銀行の金融引締めや円安の進行、ウクライナ情勢などを起因としたエネルギー価格の高騰などにより、先行き不透明な状態が続いております。

こうした不透明な経済環境の中、大企業から中堅・中小企業まで規模や業界・業種を問わず多くの企業がDX（デジタルトランスフォーメーション）を活用したビジネスモデルの変革や生産性向上などの課題解決に取り組んでいます。これに伴うIT投資意欲は引き続き堅調に推移するものと見込まれます。

このようなビジネス環境において、当社グループは、ERP（基幹業務システム）、CRM（顧客管理システム）、CBP（企業間協調プラットフォーム）を組み合わせたDXビジネスを展開しております。CBPは当社独自のプラットフォームであり、サービス増強のため積極的な投資による機能拡張やマーケティングの強化を継続的に行っております。

また、当社グループが得意とするERPやCRMの領域、企業間における注文決済業務を絡めたバリューチェーンの最適化が進む領域で、DXビジネスの受注獲得活動が活性化しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高6,403,131千円（前年同期比25.0%増）、営業利益806,138千円（同21.7%増）、経常利益865,281千円（同22.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益863,943千円（同82.6%増）となりました。

財又はサービスの種類別の業績については次のとおりであります。

（準委任契約等）

製造業、商社・小売業向けのERPシステム導入支援業務を中心に、売上高は5,631,408千円（前年同期比15.9%増）となりました。

（請負契約）

製造業、商社・小売業向けのERPシステム導入支援業務を中心に、売上高は374,997千円（前年同期比100.0%増）となりました。

（販売契約）

ツール・ライセンスの販売等により、売上高は396,725千円（前年同期比411.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ408,835千円増加し6,520,610千円となりました。これは主に売掛金及び契約資産が535,436千円、その他に含まれる未収入金が529,091千円増加し、現金及び預金が648,473千円減少したことによるものであります。

固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ715,969千円減少し3,039,632千円となりました。これは主に投資有価証券が691,646千円減少したことによるものであります。

以上の結果、資産合計は前連結会計年度末と比べ307,134千円減少し9,560,242千円となりました。

②負債

流動負債の残高は、前連結会計年度末と比べ432,477千円減少し2,260,960千円となりました。これは主に賞与引当金が221,341千円、買掛金が130,231千円、未払費用が72,847千円減少したこと等によるものであります。

固定負債の残高は、前連結会計年度末と比べ135,267千円減少し474,297千円となりました。これは主に繰延税金負債が159,536千円減少し、退職給付に係る負債が23,904千円増加したこと等によるものであります。

以上の結果、負債合計は前連結会計年度末と比べ567,745千円減少し2,735,258千円となりました。

③純資産

純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ260,610千円増加し6,824,984千円となりました。これは主に利益剰余金が566,652千円、為替換算調整勘定が121,220千円増加し、その他有価証券評価差額金が452,638千円減少したこと等によるものであります。

④キャッシュ・フロー

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、144,944千円減少し△327,988千円(前年同四半期連結累計期間183,043千円)となりました。これは主に法人税等の支払額の増加及び役員退職慰金の支払額の増加等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、80,009千円減少し△108,818千円(前年同四半期連結累計期間△28,808千円)となりました。これは主に投資有価証券の取得による支出の増加等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、281,823千円増加し△296,677千円(前年同四半期連結累計期間△578,500千円)となりました。これは主に自己株式の取得による支出の減少等によるものであります。

以上の結果、現金及び現金同等物は前連結会計年度末と比べて648,473千円減少し2,490,162千円(前連結会計年度3,138,635千円)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、現時点においては2023年9月26日付け「特別利益の計上及び業績予想に関するお知らせ」にて公表いたしました業績予想から変更はございません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表において入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、今後の受注プロジェクト遂行状況、お客様のIT投資戦略、経済情勢の変化、外的様々な要因により、実際の業績と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,138,635	2,490,162
売掛金及び契約資産	2,325,234	2,860,671
電子記録債権	406,732	381,065
商品	130	130
仕掛品	209	5,557
前払費用	113,537	96,967
その他	133,497	688,804
貸倒引当金	△6,201	△2,748
流動資産合計	6,111,775	6,520,610
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	248,451	248,054
減価償却累計額	△120,114	△127,357
建物附属設備(純額)	128,336	120,696
工具、器具及び備品	114,281	120,429
減価償却累計額	△94,640	△102,940
工具、器具及び備品(純額)	19,641	17,489
その他(純額)	3,623	—
有形固定資産合計	151,601	138,185
無形固定資産		
ソフトウェア	2,562	1,904
ソフトウェア仮勘定	—	600
顧客関連資産	490,945	475,775
のれん	257,128	236,872
その他	64	64
無形固定資産合計	750,701	715,217
投資その他の資産		
投資有価証券	2,269,729	1,578,083
関係会社株式	22,182	21,015
関係会社長期貸付金	15,000	32,330
長期前払費用	53,727	57,171
繰延税金資産	87,353	86,541
敷金及び保証金	228,526	228,613
保険積立金	90,682	94,995
その他	86,096	87,477
投資その他の資産合計	2,853,299	2,186,228
固定資産合計	3,755,601	3,039,632
資産合計	9,867,377	9,560,242

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	669,609	539,378
短期借入金	450,000	450,000
未払金	281,236	236,733
未払費用	180,092	107,245
未払法人税等	378,091	315,795
未払消費税等	119,224	76,460
品質保証引当金	27,024	36,183
賞与引当金	301,215	79,874
役員賞与引当金	36,178	—
株主優待引当金	15,139	1,582
その他	235,624	417,705
流動負債合計	2,693,437	2,260,960
固定負債		
繰延税金負債	466,933	307,397
役員退職慰労引当金	24,870	25,910
退職給付に係る負債	30,089	53,993
資産除去債務	87,672	86,997
固定負債合計	609,565	474,297
負債合計	3,303,003	2,735,258
純資産の部		
株主資本		
資本金	562,520	562,520
資本剰余金	202,747	202,747
利益剰余金	5,125,198	5,691,850
自己株式	△819,050	△815,957
株主資本合計	5,071,414	5,641,160
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,288,129	835,491
為替換算調整勘定	127,373	248,594
退職給付に係る調整累計額	△1,898	△9,354
その他の包括利益累計額合計	1,413,605	1,074,731
株式引受権	21,585	35,948
新株予約権	6,946	5,849
非支配株主持分	50,821	67,293
純資産合計	6,564,373	6,824,984
負債純資産合計	9,867,377	9,560,242

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	5,124,359	6,403,131
売上原価	3,573,988	4,384,886
売上総利益	1,550,371	2,018,245
販売費及び一般管理費	887,755	1,212,106
営業利益	662,615	806,138
営業外収益		
受取利息	10	160
受取配当金	13,420	19,680
受取手数料	400	17,125
債務免除益	22,090	—
持分法による投資利益	—	1,085
助成金収入	3,372	9,534
為替差益	5,060	9,271
投資事業組合運用益	—	1,880
その他	2,159	2,723
営業外収益合計	46,513	61,461
営業外費用		
支払利息	—	1,784
支払手数料	2,999	533
その他	316	—
営業外費用合計	3,315	2,318
経常利益	705,812	865,281
特別利益		
保険解約返戻金	3,673	949
投資有価証券売却益	—	393,671
特別利益合計	3,673	394,620
特別損失		
保険解約損	89	—
特別損失合計	89	—
税金等調整前四半期純利益	709,396	1,259,902
法人税、住民税及び事業税	235,689	343,447
法人税等調整額	△8,803	41,578
法人税等合計	226,885	385,025
四半期純利益	482,510	874,876
非支配株主に帰属する四半期純利益	9,406	10,933
親会社株主に帰属する四半期純利益	473,103	863,943

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	482,510	874,876
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	48,843	△452,638
為替換算調整勘定	154,552	127,152
退職給付に係る調整額	—	△7,848
その他の包括利益合計	203,396	△333,334
四半期包括利益	685,906	541,541
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	669,766	525,069
非支配株主に係る四半期包括利益	16,140	16,472

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	709,396	1,259,902
減価償却費	23,390	42,095
のれん償却額	12,224	25,359
保険解約損益 (△は益)	89	—
退職給付費用	—	△10,193
株式報酬費用	15,199	16,611
投資事業組合運用損益 (△は益)	316	△1,880
債務免除益	△22,090	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△5,265	△3,745
品質保証引当金の増減額 (△は減少)	△2,104	9,158
賞与引当金の増減額 (△は減少)	4,804	△223,181
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	7,617	△34,476
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	—	△13,556
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	—	1,040
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	—	19,213
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△393,671
受取利息及び受取配当金	△13,430	△19,840
支払利息	—	1,784
支払手数料	2,999	533
持分法による投資損益 (△は益)	—	△1,085
その他の損益 (△は益)	△519	△373
売上債権の増減額 (△は増加)	△590,274	△451,956
棚卸資産の増減額 (△は増加)	3,024	△4,717
仕入債務の増減額 (△は減少)	△15,307	△142,014
未払消費税等の増減額 (△は減少)	1,925	△42,709
未払金の増減額 (△は減少)	△8,612	97,049
前受金の増減額 (△は減少)	18,439	174,688
その他の資産の増減額 (△は増加)	△48,278	△44,375
その他の負債の増減額 (△は減少)	△87,946	△76,241
小計	5,598	183,418
利息及び配当金の受取額	13,430	19,808
利息の支払額	—	△1,832
法人税等の支払額	△202,072	△379,383
役員退職慰労金の支払額	—	△150,000
営業活動によるキャッシュ・フロー	△183,043	△327,988

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	—	△100,798
有形固定資産の取得による支出	△4,806	△2,908
有形固定資産の売却による収入	53	—
無形固定資産の取得による支出	—	△600
資産除去債務の履行による支出	—	△660
会員権の売却による収入	—	1,000
出資金の払込による支出	△25,000	—
長期貸付けによる支出	—	△25,000
長期貸付金の回収による収入	—	23,800
敷金及び保証金の差入による支出	—	△653
敷金及び保証金の回収による収入	3,802	1,315
保険積立金の積立による支出	△4,978	△4,313
保険積立金の解約による収入	2,120	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△28,808	△108,818
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△302,968	—
配当金の支払額	△275,531	△296,678
自己株式の処分による収入	—	1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△578,500	△296,677
現金及び現金同等物に係る換算差額	78,090	85,010
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△712,262	△648,473
現金及び現金同等物の期首残高	2,873,508	3,138,635
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,161,246	2,490,162

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(売上計上方法の変更について)

当社グループでは、受注制作のソフトウェア開発に関する収益認識は、原則として、契約における履行義務を充足するにつれて一定の期間にわたり収益認識を行っておりますが、ごく短期な契約については、完全に履行義務を充足した時点で収益認識を行っておりました。

2023年8月より、経営及び業務の更なる合理化、効率化のため、旧基幹システムに替えて新基幹システムを稼働させております。

これを契機に、より適正な損益管理を目的として、受注額が確定している全ての契約について、履行義務を充足するにつれて一定の期間にわたり収益を認識する方法に変更いたしました。

なお、今回の変更が当第2四半期連結累計期間の連結貸借対照表、連結損益計算書及び利益剰余金の当期首残高に与える影響は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。